



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <https://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 藤川 俊明 TEL 011-864-1111

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	18,359	2.6	△212	—	△31	—	△131	—
2020年3月期第1四半期	17,899	△3.1	△247	—	△198	—	△226	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △80百万円（-％） 2020年3月期第1四半期 △257百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△8.77	—
2020年3月期第1四半期	△15.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	44,401	13,497	30.1
2020年3月期	44,042	13,668	30.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 13,363百万円 2020年3月期 13,537百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2021年3月期の配当につきましては、現段階では未定とし、予想が可能となった段階で速やかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による業績への影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社フリー・ステアーズ、除外 1社 （社名）－  
（注）詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	16,694,496株	2020年3月期	16,694,496株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,665,093株	2020年3月期	1,665,084株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	15,029,403株	2020年3月期1Q	15,029,493株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって緊急事態宣言が発出され、社会経済活動が急速に停滞したことから、極めて厳しい状況となりました。

緊急事態宣言の解除により、社会経済活動は段階的に再開されましたが、新型コロナウイルス感染症の終息には長期化が懸念されるなど、景気の先行きについては予断を許さない状況が続きました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、受注の停滞で新設住宅着工戸数の減少傾向に拍車がかかるなど、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって事業活動が制約される中、社会インフラ整備や災害対策に向けた公共投資を中心に建設需要は堅調に推移しました。

このような環境において当社グループは、顧客獲得に向けて営業力の強化と施工体制の拡充を推進したほか、非住宅部門への積極的な営業を展開するとともに、各セグメントにおいて利益率の改善に努めました。こうした収益力強化の取り組みに加え、IT環境の整備や業務の見直しによる生産性向上を合わせて強化いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で資材仕入の納期遅延のほか、工事の一時中断や延期、イベントの中止などの悪影響も発生いたしました。テレワークの活用により受注体制の確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高183億59百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失は2億12百万円（前年同期は営業損失2億47百万円）、保険解約返戻金を計上した結果、経常損失は31百万円（前年同期は経常損失1億98百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億31百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億26百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (建設資材)

基礎資材は大型インフラ工事を中心に順調に推移し、建設資材は北海道市場において順調に推移したものの、関東圏を中心に住宅投資の減少や資材仕入の納期遅れなどから減少した結果、売上高は129億82百万円（前年同期比1.2%減）となりましたが、利益率の改善に努めたことなどから、セグメント利益は72百万円（同81.7%増）となりました。

#### (建設工事)

大型物件工事の完工などが順調に推移した結果、売上高は45億42百万円（同19.0%増）となり、セグメント損失は92百万円（前年同期はセグメント損失1億36百万円）となりました。なお、建設工事の完工時期が下期中心となるため、利益面において著しく低下する季節特性があります。

#### (資材運送)

基礎資材運送が減少した結果、売上高は7億13百万円（前年同期比14.2%減）となりましたが、燃料価格の下落や利益率の改善に努めたことなどから、セグメント利益は55百万円（同15.7%増）となりました。

#### (その他)

賃貸収入が順調に推移した結果、売上高は1億20百万円（同9.7%増）、セグメント利益は46百万円（同22.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ3億59百万円増加して444億1百万円となりました。流動資産は同2億41百万円減少して331億25百万円、固定資産は同6億円増加して112億76百万円となりました。流動資産の減少の主なもの、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同1億23百万円減少して74億42百万円となりました。無形固定資産は、同6億56百万円増加して10億54百万円となりました。投資その他の資産は、同67百万円増加して27億78百万円となりました。

#### (負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ5億30百万円増加して309億4百万円となりました。流動負債は、同14億16百万円減少して253億64百万円、固定負債は同19億46百万円増加して55億39百万円となりました。流動負債の減少の主なもの、短期借入金の減少によるものであります。固定負債の増加の主なもの、長期借入金の増加によるものであります。

#### (純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1億71百万円減少して134億97百万円となりました。この減少の主なものは、利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.7%から30.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による業績への影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから引き続き未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,647	8,096
受取手形及び売掛金	20,628	18,376
商品及び製品	503	529
販売用不動産	1,166	1,245
未成工事支出金	2,987	4,407
原材料及び貯蔵品	70	73
その他	405	438
貸倒引当金	△42	△41
流動資産合計	33,367	33,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,434	3,406
土地	3,310	3,236
その他(純額)	821	799
有形固定資産合計	7,566	7,442
無形固定資産		
のれん	173	844
その他	224	210
無形固定資産合計	398	1,054
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	189	193
その他	2,633	2,709
貸倒引当金	△112	△123
投資その他の資産合計	2,710	2,778
固定資産合計	10,675	11,276
資産合計	44,042	44,401

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,881	12,752
電子記録債務	7,104	6,287
短期借入金	3,230	1,330
1年内返済予定の長期借入金	290	490
未払法人税等	322	85
賞与引当金	204	132
完成工事補償引当金	31	31
その他	2,716	4,254
流動負債合計	26,780	25,364
固定負債		
長期借入金	1,996	3,936
退職給付に係る負債	87	94
資産除去債務	3	3
厚生年金基金解散損失引当金	224	224
その他	1,282	1,280
固定負債合計	3,593	5,539
負債合計	30,374	30,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	326	326
利益剰余金	13,138	12,916
自己株式	△446	△446
株主資本合計	13,434	13,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	179
退職給付に係る調整累計額	△30	△28
その他の包括利益累計額合計	102	150
非支配株主持分	131	133
純資産合計	13,668	13,497
負債純資産合計	44,042	44,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	17,899	18,359
売上原価	16,337	16,758
売上総利益	1,561	1,600
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	762	752
その他	1,046	1,060
販売費及び一般管理費合計	1,809	1,813
営業損失(△)	△247	△212
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	16	15
持分法による投資利益	4	8
保険解約返戻金	—	132
雑収入	38	40
営業外収益合計	66	204
営業外費用		
支払利息	14	14
債権売却損	0	—
雑損失	3	8
営業外費用合計	18	22
経常損失(△)	△198	△31
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△199	△32
法人税等	27	97
四半期純損失(△)	△226	△129
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△226	△131

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△226	△129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	46
退職給付に係る調整額	0	2
その他の包括利益合計	△31	48
四半期包括利益	△257	△80
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△257	△82
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	2



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社フリー・ステアーズの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。

なお、株式会社フリー・ステアーズは当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,140	3,818	831	17,789	109	17,899	—	17,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	176	65	137	379	21	401	△401	—
計	13,316	3,883	969	18,169	130	18,300	△401	17,899
セグメント利益 又は損失(△)	40	△136	48	△48	37	△10	△237	△247

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業及び車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△237百万円には、セグメント間取引消去35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△272百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,982	4,542	713	18,238	120	18,359	—	18,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	178	68	143	390	24	414	△414	—
計	13,161	4,611	857	18,629	144	18,773	△414	18,359
セグメント利益 又は損失(△)	72	△92	55	35	46	82	△294	△212

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業及び車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△294百万円には、セグメント間取引消去36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△331百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建設工事」において株式会社フリー・ステアーズの株式取得により連結子会社としたことに伴い、のれんの金額が705百万円増加しております。